

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

臨床的寛解に着目した重症喘息に対する生物学的製剤の有効性についての検討

[当院研究責任者] 部署名 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 箕浦 健悟

[研究の背景]

気管支喘息に対して、通常は吸入での治療を行うことが多いですが、一部の方は吸入だけでは症状が安定しない難治性喘息となっています。これまでこのような患者さんは、ステロイド内服による治療が行われてきました。近年、このような方に対して、気管支喘息の根本的な病因の一部を抑えるような「生物学的製剤」が登場し、多くの方がこの薬により症状の改善が得られています。近年、喘息患者さんの病気の改善具合を評価する指標として「臨床的寛解」という新しい考え方が生まれ、注目されています。現在、この「臨床的寛解」を達成できる患者さんの特徴について世界中で検証されていますが、まだ十分ではありません。

[研究の目的]

本研究では気管支喘息と診断し、生物学的製剤が導入となった患者さんを対象に、診断時の身体、生活状況や検査結果、治療内容などの情報を収集します。生物学的製剤の導入前後で症状がどれほど改善したか、あるいは臨床的寛解を達成した方、臨床的寛解を達成されなかった方で、収集した情報のどの項目が関連していたかを検証することを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2009年4月から2023年6月に公立陶生病院にて、気管支喘息を理由として生物学的製剤を導入された患者さんを対象とします。

●研究期間：研究実施承認日から2029年3月31日

●利用する検体、カルテ情報

診療情報(カルテ)から、年齢、性別、生活歴、喘息質問票、検査結果(血液検査、呼吸機能検査、画像検査)、治療内容、治療開始日、治療終了日などの情報を収集します。

●利用する検体、カルテ情報の管理

本研究で用いるカルテ情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

1. 研究代表者

公立陶生病院 アレルギー疾患内科・専攻医・箕浦健悟

2. 研究分担者

公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科・部長・萩本聡

公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科・部長・寺町涼

公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科・部長・富貴原淳

公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科・部長・笹野元

公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科・部長・横山俊樹

公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科・部長・片岡健介

公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科・部長・木村智樹

[個人情報取扱い]

研究に利用する情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対応表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対応表は、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学術集会や英文学会誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 箕浦 健悟

電話 0561-82-5101

FAX 0561-82-9139